
A n g e l B e a t s ! ~ 戦場に響き渡る歌 ~

はやて

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Angel Beats!～戦場に響き渡る歌～

【NZコード】

N7645Y

【作者名】

はやて

【あらすじ】

我々の世界は人の死を無差別に無作為に訪れる。この世界はそんな理不尽な死を受けた人達が集まる世界だった。そこには天使という存在がいる。天使に従つて学校生活を送ると成仏してしまう。だがある時から神に抗う人達が現れた。これは、そんな人達の物語。

登場人物（前書き）

初めましてーはやてですー
（^ - ^）／

今回A n g e l B e a t sーのー次創作を書く」とこなつたんよー！

正直..書けるかわからんのやけど（（（・・・）

頑張つてみよつと思つんで応援よろしくな～（^ o ^）＼

（作者は、しゃべり方を氣分でかえますのでやーの所は、『』で解く
ださい）

登場人物

桜華 おうか
咲夜 さくや

伸長：160

髪：黒茶で長め

服装：SSSの制服だが上着はいつも腰に巻いている武器・双剣

野弥 秀
のや しゅう

伸長：170

髪：茶髪で少し長め額にバンダナをしている

服装：SSSの制服 + バンダナ

武器・デザートイーグル・ライフル

江原 大
えはら だい

伸長：165

髪：黒で短め

服装：SSSの制服（上着無し）

武器・二丁銃剣

戦線メンバー

高松 日向
ゆり 音無

ゆいひさ子 遊佐江入根岩沢 大山藤巻松下 T K 椎名野田

登場人物（後書き）

登場人物は、こんな感じやね～（^-^）

次からは、本文になるさかいよろしくや！！！

プロローグ（前書き）

短いけど投稿します。

やつぱり小説を書くのは難しいですね（（（・・・）

それでは、下手ですがプロlogueをどうぞ

プロローグ

「プロローグ」

いつからだろ？こんな気持ちになつたのは、心中から温かくな
るようなこの気持ち。ただ一緒にいるだけで幸せになれて話すと笑
みが溢れてしまい。また会いたいと思えるような気持ち。

けど…形ある物はいつか壊れてしまう。人間も同じように出会いが
あるから別れがある。一回きりの人生だからこそ、一生懸命生きて
いかないといけない。

だけど…俺はあの時まで知らなかつた。世界がこんなにも理不尽だと
と言つことを。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

その日咲夜は、バスケの試合をしていた。

ダンダン　キュッ　ダンダン

体育館中にボールを地面につく音とショーツの音が響き渡る。

ダンダン　ダンダン　キュッスバッ

「　「　「わあー！……！」　」

入る度に歓声が周りを支配する。

ピー

審判がホイッスルを鳴らすとタイムの指示をだした。

コーチ

「なにをやっている！？同点なんだぞ！？時間が少ないんだ！あと一本入れて全力で守れ！！」

「　　はい！！」

ビー

ダンダン　キュッ

友達A

「咲夜！バスを回せ！！」

咲夜は言われるままにバスを出した。

パシッ　ダンダン

咲夜は、そいつとアイコンタクトをすると走り出した。

友達A

「頼んだ！咲夜！！！！」

そいつのバスは、一直線で咲夜の元に飛んでくる。

パシッ　ダンダン　キュッ　スパッ

スリー・ポイントから放ったボールは、弧を描いてゴールに入った。

ビー

試合が終わるホイッスルが鳴った。止まない歓声の中で皆が咲夜に抱きついて来る。そう…試合に勝つたのだ。

その日の夜、帰り道に何気なく通つた公園で咲夜は、足を止めた。

「苛立ちをどこにぶつけるか

探してゐる間に終わる日

空は灰色をして

その先は何も見えない

常識ぶつてる奴が笑つてゐる

次はどうな嘘を言つ…」

何処からか歌が聞こえてきた。澄んだ綺麗な歌声に咲夜は、導かれるように聴こえてくる場所へと歩き出した。そこには…月明かりの下に自分と同じぐらいの歳の少女がギターを弾きながら歌つていた。

「それで得られたもの
大事に飾つておけるの
でも明日へと進まなきやならない
だからこう歌うよ

泣いてる君こそ
孤独な君こそ
正しいよ

人間らしさよ

落とした涙が「う」言いつよ
こんなにも美しい嘘じやない
本当の僕らをありがと「」

パチパチ

思わず拍手してしまった。咲夜は、聞き惚れていた。こんな綺麗な歌声を聞いたことがなかった。

「あれ？ いたんだ… 気付かなかつたよ」

少女は、咲夜に気付いてについつと微笑んだ。

咲夜

「こんばんわ。歌上手いんだね！ いつも「う」で歌つてるので？」

咲夜の質問に少女は…

「こんばんわ。やうだね… 時間がある日は、いつも「う」で練習してくるかな。あ… もう「う」んな時間だ。「ごめんね… もう帰らないと」

少女は、ギターをギターケースに直すと走り出した。

咲夜

「ねえ… また「う」に来れば君の歌を聞ける？」

咲夜は、走り出す少女に呼び掛けた。すると…

「うん！ またおいで！ 次はゆっくり話そう…」

少女は、そう言つと暗闇に消えていった。

そう…これが咲夜と少女の最初の出会いだった。

プロローグ（後書き）

「にじにじにじわーはやでやでーーーー！」

今回は、オリ主こと咲夜とわかる人はわかるであろう人の出
会いやつたけど…どうやつたかな（（（・・・）

次はいよいよ咲夜があの世界に行くで～！

ほな～またな～（。。）ノ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7645y/>

Angel Beats!～戦場に響き渡る歌～

2011年11月24日08時47分発行